流域治水

出前講座　区分 ▶ 河川　対象 ▶ 一般

国土交通省 東北地方整備局
岩手河川国道事務所　流域治水課
Iwate River and National Highway Office.

講座名　「北上川の治水事業を学ぶ」

開催概要

開催日時	令和8年7月9日（木）10：00～14：30
開催場所	あいぽーと（一関市狐禅寺）、大林水門
参 加 者	JICA（研修員 11名、通訳 1名、随行者 1名）、一関第一高校1，2年生 13名
講座目的	2026年度JICA課題別研修：持続性と強靭性確保のための防災

実施内容

今回の出前講座は、JICA関西が実施している『2026年度課題別研修「持続性と強靭性確保のための防災」』として6月下旬から来日しているラテンアメリカの防災担当行政官の皆様に、「あいぽーと」、「大林水門」にお越しいただきました。JICAの皆様は昨年度に引き続き5回目の来訪となりました。

当日は9ヵ国（チリ、コロンビア、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、メキシコ、ニカラグア、ペルー）11名の皆様に、当事務所職員が説明し、通訳の方にスペイン語で同時通訳していただきました。

参加された皆様からは、「遊水地事業の計画や事業規模について」、「水門閉鎖後、地内に貯まった水の排水方法について」、「洪水時に遊水地が湛水する場合の住民への注意喚起の方法について」、「農地が湛水した場合の補償について」、等沢山の質問をいただき、遊水地事業や流域治水への関心の高さがうかがえました。

また、今回も昨年に引き続き一関第一高校との交流の時間を設け、各国の災害事例や災害への備え等について、通訳を介し質問するなど積極的な意見交換が行われました。高校生にとっても各国事情を知る貴重な経験となったのではないでしょうか。

実施の様子



講義と交流会のようす





一関遊水地について
模型を使って説明



大林水門での
記念撮影